

平成 21 年度環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野
 (建築物外皮による空調負荷低減等技術) の運営全般に対する意見

団体・企業名	フリガナ(全角)	ザイダンホウジン ニホントリョウケンサキョウカイ
	漢字(全角)	財団法人 日本塗料検査協会
担当者所属・役職	フリガナ(全角)	ヒガシシブ シブチョウ
	漢字(全角)	東支部 支部長
担当者名	フリガナ(全角)	オガワ ススム
	漢字(全角)	小川 進
住所	〒251-0014 神奈川県藤沢市宮前 428	
電話番号	0466-27-1121	
FAX 番号	0466-23-1921	
メールアドレス	ogawa@jpia.or.jp	
意見	内容	<p>【設問 2】①-5 公的機関データを製品拡販のツールとして活用する。②-4 製品改良、性能レベルの把握に活用する。③-2 高反射率塗料の普及推進に有効な施策と賛同。④-2 製品の認知度向上。前年度の反響が大きかった。</p> <p>【設問 3】①-9 カタログやホームページへ織り込み、製品ラベルに貼付、顧客への補足説明等、拡販ツールに活用。②-1 製品開発・改良に活用する。</p> <p>【設問 4】①-3 諸手続は煩雑さがなく問題なし。②-2 実施予定を予告し、応募期間を長く取ってほしい。③-2 費用はやや高い。④-1 委員分、申請書類コピーは違和感あり。⑤-1 募集期間が夏前ならば、もっと注目されるか。⑥-1 実施時期を早め、屋外暴露機関を延長する⑦-1 塗装仕様が多数あり、全仕様で応募すると負担が大きい。</p> <p>【設問 5】①-3 日射反射率長期屋外暴露維持性(耐候性)の確認が必要。②-2 空調負荷低減には高い長波放射率が有効と考えるが、明確にでない。③-1 熱負荷計算に明度の違いが補正されてなく公正性を欠く。</p> <p>【設問 6】①-3 本事業のアピールで、ロゴマークの認知を高め、高反射率塗料の普及・環境保全と環境産業の発展増進を期待する。②-1 高反射率防水シートで、自社だけ高明度品で応募し他社の灰色と日射反射率を比較。このような愚挙を許さない策をとること。③-1 外壁に塗装した場合、他の建築物への影響を確認願いたい。</p> <p>【設問 7】なし</p> <p>【設問 8】①-1 各情報源で反射率の高さだけが紹介されている。耐候性・汚染性・コスト等を考慮した紹介、公開にしてほしい。</p> <p>【設問 9】了解している-9 そのような認識はしてなかった-0</p> <p>【設問 10】了解している-9 そのような認識はしてなかった-0</p> <p>【設問 11】なし</p>
新規申請 5 社、リピー ト申請 5 社、計 10 社		